

よつば



「ご卒業おめでとうございませう」

PTA 会長 齊藤 智子

卒業を迎えられる皆さん、おめでとうございませう。そして大きく立派に成長されたお子様の姿を見て保護者の皆様も感動されていることと思います。

コロナ禍の中、校長先生をはじめ各先生方にはどんな時にも温かく見守って頂き大変お世話になり感謝いたします。

卒業生の皆さん、この群馬県立聾学校で学んだことを「糧」に次のステージでの活躍を心よりお祈り申し上げます。

言葉を用いて考える

校長 土橋 恵津子

高等部を卒業する五名の皆さん、ご卒業おめでとうございませう。令和四年度高等部卒業生は、三年間のすべてが新型コロナウイルス感染症対策をとった教育活動となり、マスクを着用した学校生活、行事の中止や縮小等、誰もが経験したことのない学校生活でした。我慢という思いを抱くことが多かったかと思えます。しかし、我慢するということだけではなく、こうした状況下で「何ができるか、どうしたらできるか」と、友だちとともに考え実施し、数多くの笑顔を見ることができました。本日、こうして目標とする力を身につけ、希望する進路を実現し、堂々と卒業を果たします。本当に頼もしい限りです。

今年度、私は、PTA総会やPTA新聞において、本校の学校教育目標は、「心身の健康」「自主性・主体性」「言語力・基礎学力」「社会参加」という四つの柱であり、重点目標として「自主性・主体性」を挙げさせていることをお伝えしました。予測困難な新たな社会を生きる上で、自分で課題を見つけ、考え、解決に向け動き出す力が求められています。そのため、今年度は言葉を用いて考える学習を重視し、様々な教育活動に

取り組んでまいりました。いくつか具体的にお伝えさせていただきます。まず、高等部生が総合的な探究の時間に取り組んだ「全国高校生手話パフォーマンス甲子園」では、二チームが参加し、Bチームが予選を突破、鳥取県で開催された本大会で奨励賞をいただきました。この活動では、生徒同士がコミュニケーションを重ね、自己の在り方について考えを深めたり、友達との関係を広げたりしていました。学習発表会は、生徒会が中心となりテーマ設定や手形アート制作を行いました。二学期始業式では、生徒会役員がテーマ発表の際の見せ方や伝え方を工夫し、低学年の子どもたちもよく見ている様子が印象深く残っています。高等部修学旅行は、感染が拡大する中でも、生徒自身の考えた行程で数多くの体験・見学することができ、思い出深いものとなりました。制服検討委員会は、アンケート調査結果を受けた議論が続けられ、「デザイン」の検討に入りました。御子神君は「制服から見えた社会」という題名で、全国聾学校作文コンクール高等部部門で努力賞を受賞しました。制服の問題を多面的に捉え、議論を重ねていく中で、自身の考えに変化が起きていく様子が表現されていました。

新学習指導要領では、私ども教師は「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行うことで、質の高い学びを実現し、子どもたちに生涯にわたって能動的（アクティヴ）に学び続けるようにすることが重要だと伝えられています。群馬聾学校では「言葉を教える」から「言葉を用いて学習に取り組み、対話を重ね、考えを広げ深める」に意識改革し教育活動に取り組んでまいりました。「新たな社会でたくましく生きる」そうした子どもたちの姿を、子ども自身、保護者、地域の皆様とともに描き実現してまいります。子どもたちの夢を実現するための「協働者」としてご理解・ご協力いただきましたことに感謝申し上げますとともに、今後とも群馬聾学校をどうぞよろしくお願いたします。



PTA講演会

講師 聴覚障害者福祉協会専務理事



松本 末男 先生



十一月十六日(水)松本末男先生をお迎えして「心と体を育てるために」～お子さんと先生へ～という演台で講演会を開催しました。たくさん感想を頂きました。

参加者からの感想 幼稚園部

- ◎子供に寄り添って、気持ちを沢山聞いてあげられる母親になりたいと、改めて思いました。
- ◎頑張らないとではなく、頑張っていこうと思わせてくれました。
- ◎障害のために諦めなければいけない部分が沢山あると思っていました。諦めず信念を持って挑む心、気持ちがあれば叶うと知れたのは凄く嬉しい発見でした。

中学部

- ◎先生が経験した事を聞けてとても参考になりました。

高等部

- ◎興味深く為になるお話でした。毎年講師の方が変わるので、今後は講演会を録画し、誰でも過去の物も見られるような仕組みが出来れば有意義な講演会になると思います。



PTA手話教室

参加者からの感想



十一月四日(金)手話教室を実施しました。沢山の方向けに参加していただきました。

幼稚園部

- ◎手話に方言があることや、絵本の読み聞かせでどんな風に伝えるのがいいかなど、勉強になりました。
- ◎実際に聾のかたとコミュニケーションを取り、教科書にはない生きた手話を使う事ができました。

小学部

- ◎家での普段の読み聞かせでは、子供が理解出来るか分からない事がありました。日本語の文章にはとらわれず、子供の分かり易さを優先して、自分自身の手話表現も豊かにしたいと思えます。

高等部

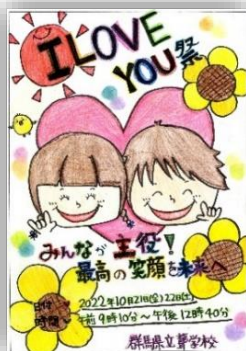
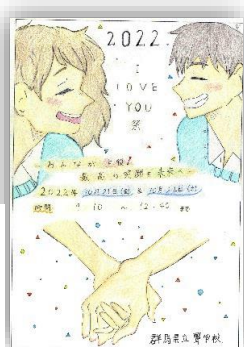
- ◎講師の方の経験を色々話して頂き、息子の進路についても悩んでいたのが、とてもありがたかったです。知らない手話を教えていただきとても楽しい貴重な時間を過ごす事が出来ました。



学習発表会特集

十月二十一日(金)、二十二日(土)「学習発表会」が開催されました。コロナの収束は叶いませんでしたが、昨年度の体育館のみでの発表、作品展示が今年度は体育館でステージ発表、各部で作品展示と場を広げて行なわれました。またまた来場家族の人数などの制限もありましたが子どもたちの日頃の学習の成果が発揮できてよかったです。

生徒制作ポスター



各部のステージ発表より



リズム



幼稚部

体操 めっちゃげんき!



各学年のリズムではうさぎやめだかやギャロップや橋、かかしなどのびのびと体を動かすことができました。また、「めっちゃげんき」体操では恐竜やおばけなどになりきることができました。

小学部



小学部1～3年生
劇：「なかよし動物の島」



小学部4～6年生
劇：「おばけの世界へようこそ」



1年生は「しろくまのジェンカ」
2年生は「森の探検隊」
3年生は「ゆかいな」牧場を発表し、最後に全員でダンスをしました。

手作りの衣装や小道具を効果的に使い個性なおばけを表現するとともに偏見をなくして見ると誰とも仲良くなれる、というメッセージを表現しました。





中学部



ダンス・和太鼓



発表内容を自分たちで考え、皆で話し合い「一人一人がみんな主役！」を意識して発表しました。本番では練習の成果を十分に発揮することができました。



手話パフォーマンス

高等部

「第9回手話パフォーマンス甲子園」を目指してとりくんだ手話パフォーマンスの発表をしました。A チームは「届け!!～僕だって伝えたい～」B チームは「笑顔」をテーマに発表しました。自分たちで考え、練習を積み重ね満足のいく発表となりました。



B チームは「第9回手話パフォーマンス甲子園」で奨励賞をいただきました。

新成人のこぼ (写真とリンクはしていません)

自分の言動に責任を持ち、日々精進していきたいと思いをします。

未熟な私ですが、大人としての行動をとっていききたいと思いをします。

育ててくれてありがとうございました。これからは心配かけないようにします。

お世話になったすべての方々に感謝し、恩返しが出来る大人になりたいです。

親、先生、友人に、感謝の気持ちを忘れず、これからは責任感のある大人を目指し、日々精進してまいります。

成人を迎えられて、嬉しく思います。これからも自分で沢山の事にチャレンジして壁を乗り越えていきたいと思いをします。

はたちを祝う会



令和5年1月9日(日)に群馬県聴覚障害者親の会主催により、「はたちを祝う会」が行われました。はたちを迎えた卒業生を囲み、限られた人数でしたが関係者が集い、同窓会さながらに温かい雰囲気でお話の花を咲かせました。この度は誠にありがとうございます!!

編集後記

今年度二回目のPTA新聞(第37号)を無事発行することができました。記事や感想をお寄せいただいた皆様、ご協力ありがとうございました。

PTA文化部役員一同